

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
高知市	春野町西畑地区(西畑集落)	令和3年3月19日	令和4年2月9日

### 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	50.09ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	28.11ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	15.93ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	9.42ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.02ha
④地区内において今後中心経営体を引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.6ha
(備考) 「貸したい」又は「売りたい」意向のある農地のうち、中間管理事業の活用も希望する面積の割合:41.57%	

注1:③の「70才以上」には、地域の実情に応じて、5～10年後の農地利用を議論する上で適切な年齢を記載します。

注2:④の面積は、下記の「(参考)中心経営体」の「今後の農地の引受けの意向」欄の「経営面積」の合計から「現状」欄の「経営面積」の合計を差し引いた面積を記載します。

注3:アンケート等により、農地中間管理機構の活用や基盤整備の実施、作物生産や鳥獣被害防止対策、災害対策等に関する意向を把握した場合には、備考欄に地区の現状に関するデータとして記載してください。

注4:プランには、話し合いに活用した地図を添付してください。

### 2 対象地区の課題

西畑地域は、主に収益性の高い施設園芸で成り立つ農業地帯である。圃場整備ができていない農地については、現時点では耕作放棄地は少ないものの、徐々に増加の傾向にある。これは、農業者の高齢化による離農に加え、後継者がいないことから、農業用ハウスが使用されなくなり放棄地化している。今後放棄地を増やさないための対策を実施する必要がある。また、未整備の農地、特に稲作を行っている堤外の土地は、個々の田の面積が狭く、作業上非効率ということもあり、放棄地が非常に多くなっている。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

### 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

就農希望者の受け入れは引き続き行うとともに、地元出身の後継者の育成を図り、地域の農業の担い手(中心経営体)の増加を進め、農地の集約につなげていく。

規模拡大を目指す新規就農者、認定農業者及び中心経営体に対し、投資を抑えることができる使用されなくなった農業用ハウス及び農地に関する情報提供を行い、利用につなげることで集約化を図る。

注1:中心経営体への農地の集約化に関する将来方針は、対象地区を原則として集落ごとに細分化して作成することを想定していますが、その「集落」の範囲は、地域の実情に応じて柔軟に設定してください。

注2:「中心経営体」には、認定農業者、認定新規就農者、経営所得安定対策の対象となる法人化や農地の利用集積を行うことが確実と市町村が判断する集落営農及び市町村の基本構想に示す目標とする所得水準を達成している経営体等が位置付けられます。

中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農	A	野菜, 水稻	1.03 ha	野菜, 水稻	1.03 ha	西畑集落
認農	B	野菜, 水稻	1.15 ha	野菜, 水稻	1.15 ha	西畑集落
認農	C	野菜	0.25 ha	野菜	0.25 ha	西畑集落
認農	D	野菜	0.60 ha	野菜	0.60 ha	西畑集落
認農	E	野菜, 水稻	2.82 ha	野菜, 水稻	2.82 ha	西畑集落
	F	野菜	0.40 ha	野菜	0.40 ha	西畑集落
	G	水稻	0.40 ha	水稻	0.40 ha	西畑集落
認農法	H	野菜	2.66 ha	野菜	2.66 ha	西畑集落
認農	I	野菜	0.29 ha	野菜	0.29 ha	西畑集落
認農	J	野菜	0.65 ha	野菜	0.65 ha	西畑集落
認農	K	野菜, 水稻	0.88 ha	野菜, 水稻	1.08 ha	西畑集落
	L	野菜, 水稻	0.46 ha	野菜, 水稻	0.46 ha	西畑集落
認農	M	野菜	0.45 ha	野菜	0.55 ha	西畑集落
到達	N	野菜, 水稻	1.02 ha	野菜, 水稻	1.02 ha	西畑集落
	O	野菜, 水稻	0.60 ha	野菜, 水稻	0.60 ha	西畑集落
認農	P	野菜, 水稻	0.63 ha	野菜, 水稻	0.63 ha	西畑集落
認就	Q	野菜	0.31 ha	野菜	0.31 ha	西畑集落
認就	R	野菜	0.26 ha	野菜	0.26 ha	西畑集落
認就	S	野菜	0.28 ha	野菜	0.28 ha	西畑集落
認就	T	野菜	0.18 ha	野菜	0.48 ha	西畑集落
計	20人		15.32 ha		15.92 ha	

注1:「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。

注2:「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。

注3:「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

#### 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

農業用ハウスは西畑地域における資源として考え、施設園芸を止める場合でもハウスは壊さないで欲しいということを農業者に周知するとともに、保存方法について関係機関を含め検討を行う。又、農地の集約については地権者に理解を促すことを進める。
西畑地域における農地の集積・集約化につながる台帳整理(空きハウス及び地権者情報)や、貸したい・売りたい者、借りたい・買いたい者のマッチングを行うシステムの構築、又農業用ハウスの確保・保存等を行うために、農業者・JA・行政機関等の関係機関で構成される組織の立ち上げを検討する。
山間の地域では猪による被害が発生しており、耕作放棄地増加の要因となっていることから、引き続き駆除体制の強化に取り組む。
耕作放棄地の利活用及び農閑期の雇用対策として、ニンニク・里芋等の作付けを行い、関係機関とともに有効性の検証を行う。

#### (参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(m <sup>2</sup> )		
		貸付け	作業委託	売渡
1				
2				
3				
4				
5				
6				
	計			

注: 農業委員・農地利用最適化推進委員が農地の貸付け等の意向を確認した面積を農地利用最適化交付金の成果実績払いの対象とする場合には、人・農地プランにおいて地番、面積を記載することが必要です。

#### (留意事項)

本様式をそのまま公表様式として活用する場合には、中心経営体の氏名等特定の個人が識別される情報が含まれることから、本人の同意を得る等個人情報保護条例等に抵触しないよう留意してください。

なお、本人の同意が得られない場合には、その方の氏名を伏せるなど、個人が識別されないよう留意してください。